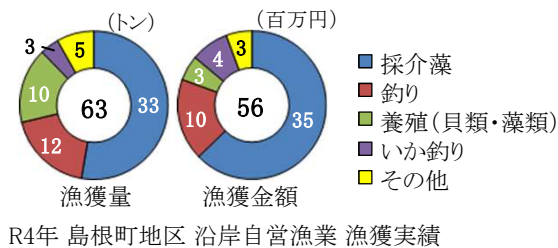


島根町地区における塩蔵ワカメ加工の協業化による所得向上

1. 島根町地区の概要

- (1) 主な漁港
加賀 / 野波 / 多古 / 沖泊 / 瀬崎 / 野井
- (2) 主な沿岸自営漁業
採介藻 / 釣り / 養殖(貝類・藻類)
- (3) R4年 漁獲実績
漁獲量 63トン(ワカメ:0.1トン)
漁獲金額 5,600万円(ワカメ:2.3万円)



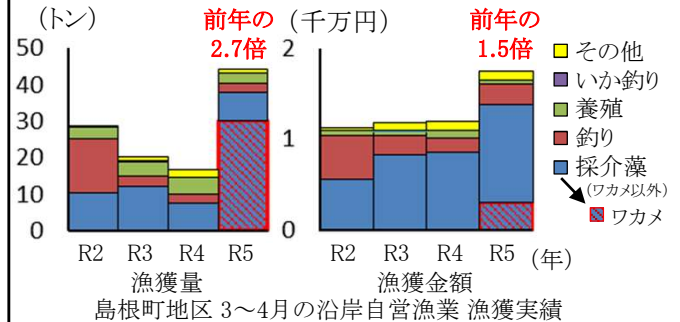
天然ワカメの漁獲



ワカメの塩蔵加工作業

3. 取組の成果

- (1) 天然ワカメ資源の有効活用
R5年3~4月(天然ワカメの漁獲時期)の天然ワカメの**漁獲量は約30トン、漁獲金額は約300万円に増加**。
- (2) 沿岸自営漁業者の所得向上
地区全体のR5年3~4月の**漁獲量は前年の2.7倍、漁獲金額は1.5倍に増加**。認定漁業者等の操業モデルに天然ワカメを組み込み、個別経営体の所得向上に寄与。



2. 取組の経過及び概要

島根町地区では、沿岸自営漁業の経営の安定化のため、新たな収入源の確保が課題。そこで、以下のポイントから天然ワカメの活用を検討。

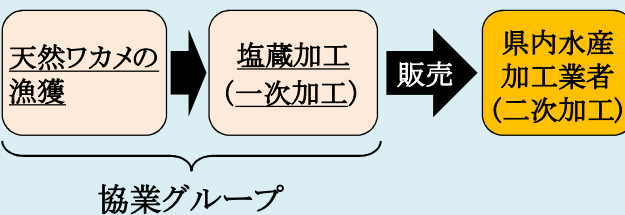
● 天然ワカメ選択のポイント

- ・他漁法と比べて**初期投資が少なく、技術習得も比較的容易**
- ・地区に**天然ワカメ資源が豊富かつ低利用**
- ・県内水産加工業者からワカメ製品の原材料として、**塩蔵ワカメを製造して欲しいとの需要あり**

認定新規漁業者を中心に**協業グループ(漁業者6名、加工作業4名)を結成**し、「沿岸自営漁業所得向上支援事業」により、塩蔵加工に必要なボイル機・攪拌機等を整備。

R5年3~4月には、天然ワカメを買取または採取して**塩蔵ワカメ10.5トン**を製造し、**県内水産加工業者へ販売**。

ワカメ塩蔵加工・販売の流れ



<グループ代表者から一言>



島根町地区 認定新規漁業者 奥 広樹 氏

塩蔵ワカメ加工の協業化により、沿岸自営漁業者の所得向上に繋げることができた。今後更に事業を拡大し、地区の沿岸漁業を盛り上げていきたい。

4. 課題と今後の取組方向

- (1) 協業グループの拡大による天然ワカメの漁獲量の増大及び安定供給が必要。
- (2) 鮮度落ちの早いワカメを迅速かつ大量に処理するため、省力・高火力のボイル機の整備等による塩蔵ワカメ加工の効率化。
- (3) 地域全体の取組とすることで、漁村の維持・発展に貢献。